





順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	9番 佐久間 儀 郎 （一括質問一括 答弁）	<p>1 教育現場での「緊急地震速報」活用について 白石中学校には「緊急地震速報」を直接受信し、校内放送する設備が、東北大学などの実証実験のために設置されていること最近知りました。 2008年の岩手・宮城内陸地震の際、揺れの21秒前に速報を受信して、屋内外にいた白中生徒の誰もが地震の到来に備えた姿勢をとることができたという。このことから、学校では数秒でも身を守る時間が生まれる利点、速報の安心感はとても大きいとの感想をもっています。このように効果が実証されているのですから、緊急地震速報受信設備を市内すべての小中学校に導入すべきではないかと考えますが、市長、教育長の所見を伺います。</p> <p>2 企業誘致の取組み、決意について 施政方針において、企業誘致を前年度に続き、23年度最重要課題と位置づけられた。深谷工業団地が3月に完成することで、一層企業へのピーアール度は高まり、それだけに、本年度は多くの市民が雇用の場の実現を待望し、執行者に成果主義を求めると料する。市長の決意等をあらためて伺う。</p> <p>3 「成熟したパートナーシップ」の構築について 施政方針において、行財政改革を推進していく表明のなかで、「NPO、各種ボランティア団体などの育成・支援を図りながら、行政と市民がそれぞれの役割を分担し補完し合う、「成熟したパートナーシップ」の構築を目指す」とされた。構築する手法、方策を市長はどのように考えているのか。</p> <p>4 「まちづくり交付金」等の資金的支援について 施政方針において、第5次総合計画に掲げた5つの目標のうち3つ目『市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち』から、地域計画において各地区が設定した「まちづくり宣言」を実現する具体的な支援方策、「まちづくり交付金」等の資金的支援の制度設計に着手すると表明していますが、この資金的支援の構想、中身について市長の所信をお尋ねします。</p>	<p>市 長 教 育 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
5	5番 沼 倉 啓 介 （一括質問一括 答弁）	<p>1 第5次白石市総合計画における自然環境の保全等について 第5次白石市総合計画基本構想の環境対策の推進のくだりで、本市を清らかな水をはじめとした自然環境に恵まれたまちと規定している。 過去に本市は清らかな水のそれらの水源を守るべく激しい戦いを展開し、それらを守り抜いた経緯を持っている。</p>	市 長

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	5番 沼倉啓介 (一括質問一括 答弁)	<p>それらの水源を守る戦いは、その地域のみならず他のそれらについても終わる事のないものをある意味必要としている。</p> <p>それらの大きな存在としての不忘、川原子地区等の環境及び保全等についての本市の現在及び将来的考え方をお聞かせ頂きたい。</p>	
6	18番 制野敬一 (一括質問一括 答弁)	<p>1 第5次総合計画及び23年施政方針の運営方針について 新たな第5次白石市総合計画及び23年度の施政方針が示された。</p> <p>特に、現在の状況下における税収の落ち込みや不透明な地方交付税の交付などが懸念される中、厳しい財政運営のもとで、これらの目標及び施策をどのように実現しようとしているのか伺いたい。</p> <p>人口減少による税収減と高齢化による扶助費等の増大に対応する方策をどのように考えているか。</p> <p>「人・暮らし・環境が活きる交流拠点の都市づくり」に5つの目標を掲げているが、企業誘致による雇用の確保、定住化促進を最優先課題としながら、進んで行かなければと思うが、優先順位をつけるようなことを考えているのか。</p> <p>観光事業の充実を、更なる発展のために全力で進んで行かなければと考えるが、市長の見解はどうか。</p> <p>今回の予算措置では、公共事業の削減が顕著に現れている。</p> <p>財政状況が厳しい状況の中、どのようにしてライフラインの整備を図って行こうとしているのか。</p> <p>以上について伺う。</p>	市長
7	1番 沼倉昭仁 (一問一答)	<p>1 「産業振興策が成功するための10のポイント」について 中小企業庁は、産業振興に成功している自治体を調査して『市町村の産業振興策が成功するための10のポイント』をまとめています。そこで『10のポイント』に従ってお伺いします。</p> <p>(1) 地域の強み・弱みを見据えた独自の「重点戦略」を明確にするため、税収、出荷額、雇用などから、白石市がどの産業に依存していると分析しているのか、その上で、「重点戦略」の必要性についてどのようにお考えか。</p> <p>(2) 産業振興を具体的に担う「キーパーソン」の発掘や、外部の専門的な機関とのヒューマン・ネットワークの構築、国・県の制度なども活用しながら、伝</p>	市長

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	1番 沼倉昭仁 (一問一答)	<p>統的な「公平性の原則」を払拭し、個別産業・企業への「重点戦略」を通じた財政基盤の強化に切り替えるとされていますが、そのためにどのようにリーダーシップを発揮されたのか、既存企業への支援策をどのようにお考えか。</p> <p>(3) 新たな工業団地の整備を行うにあたっては、計画づくりの段階から、立地・操業以後の継続的な事業サポートをペアで整備しておく、その上で、「顔の見える」連携・ネットワークを作り、実効的な「誘致戦略」を展開するとされていますが、深谷の工業団地を造成するにあたり、どのような「サポート体制」を用意しているのか、また、「企業誘致」に向けて「顔の見える」連携・ネットワークをどのように強化しているのか。</p>	
8	4番 吉田貞子 (一問一答)	<p>1 施政方針と今後の市のあり方について</p> <p>(1) 「地域主権改革の推進を土台として国づくりを行う」という国の方針に対する見解と当市への影響。</p> <p>(2) 「『4万人都市復活大作戦』を継承しながら第5次総合計画の5つの目標に組み替える」という意味はどうか、見解を問う。</p> <p>(3) 深谷工業団地への企業誘致を本年度の最重要課題としているがその取り組みとキーポイントを問う。</p> <p>(4) 英語教育の充実やアニメなどデジタルコンテンツの活用推進の内容と教育環境の充実について。</p> <p>(5) 「歴史文化の継承と創造」の具体的なメニューと、交流人口80万人を100万人にする取り組みの柱を問う。</p> <p>(6) 高齢者福祉と介護サービスの第5期事業計画策定における指針について問う。</p> <p>(7) 障害者自立支援法の本法導入期限が迫っている中で、市の支援の方針について問う。</p> <p>(8) 「公立刈田総合病院の経営健全化を支援するとともに、白石市医師会と連携した地域医療ネットワークの拡充」にむけて、新たにどのような取り組みと方針をもっているのか、対応策(医師不足が続いている現状の下)を問う。</p> <p>(9) 第5次総合計画の地域計画は、どのような経緯で決定され、どのような支援方を現段階で考えているのか。</p> <p>(10) 産業振興策の内容と、第6次産業化の推進をどのようにすすめようとしているのか。</p> <p>(11) 消防団協力事業所の認定の内容と、そのことにより、消防団組織がどのように強化されるのか。</p>	市長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	4番 吉田貞子 （一問一答）	<p>(12)みやぎ環境税交付金採択の経緯と当市への効果について。</p> <p>(13)質の高い行政サービスの実現を目指す行財政改革の推進の内容について</p> <p>(14)行政支援のあり方をどのように考えているか。</p> <p>(15)今後の市のあり方に対しての見解を問う。</p>	
9	7番 山田裕一 （一問一答）	<p>1 平成23年度施政方針について</p> <p>(1) 市政運営の最重要課題として掲げられている企業誘致について「製造関連企業等の誘致促進」と方針を打ち出しているが、製造関連企業に絞った誘致活動をされるのか。また、製造関連企業以外も考えているのか所見を伺う。さらに製造関連企業を前面に打ち出すメリットを具体的に説明いただきたい。</p> <p>(2) 「平成22年度繰越事業として、小中学校に配置している教育用コンピューター410台の更新。また、個性ある教育環境の充実を図るため、英語教育の充実やアニメなどデジタルコンテンツの活用促進を図る」とあるが、コンピューターの更新によってどのような教育効果を考えておられるのか。また、「個性ある教育環境の充実を図る」とは具体的にどのような環境を目指されるのか所見を伺う。</p> <p>(3) 「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」の中に若者が魅力や働きがいを感じられるビジネスモデルを開発し、新たな白石のイメージ形成やブランド構築を目指すとするが、具体的にどのような施策展開をお考えか。また、どのような将来ビジョンを描かれているのか所見を伺う。</p> <p>2 教員用パソコン購入について</p> <p>平成23年度施政方針の中で小中学校に配置している教育用コンピューター410台の更新が示されているが、教員用コンピューターの配置が進んでいない。市職員同様、教員に対しても一人に一台のコンピューターが欠かせないと思う。教員用コンピューター配置が当市の教育環境充実に直結すると考えるが、所見を伺う。</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>行財政改革の一環として全国の自治体でパソコンで使用する有料ソフトを、インターネット上で配布されている無料ソフトに切り替える動きが広がっている。会津若松市では、ワープロや表計算ソフトに、マイクロソフト社の有料ソフト「オフィス」を使っていたが平成19年から市内のパソコンすべてに同種の無料ソフト「オープンオフィス」を導入した。オフィス（通</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p>

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	7番 山田裕一 (一問一答)	<p>常版)は新たに購入すると6万円近くかかり定期的に使用権の更新料も必要だが、オープンオフィスを導入すれば、すべて無料になる。当市においても無料ソフト導入についての検討が必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>4 タブレットPCを使った当市のPRについて 当市では、デジタルコンテンツを活用したまちづくりや教育環境の充実、さらには、当市をPRするアニメーションを作成し、観光・地域振興・農産物のブランディングや新規販路拡大を図ろうとしている。そこでipadやGALAXY TabなどのタブレットPCを積極的に活用することで当市を効果的にPRすることになり、戦略的な企業誘致や観光宣伝などの交流人口拡大に直結すると考えるが、いかがか所見を伺う。</p>	市長
10	2番 管野恭子 (一問一答)	<p>1 救急医療情報キット配布事業の実施について 高齢者、障がい者の方々等の安心安全の為に、「薬剤情報提供書(写)」「かかりつけ医」「健康保険証(写)」「持病」「緊急時連絡先」等の情報を容器に入れ、通常、冷蔵庫に保管し緊急時に備える標記事業を本市も実施すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 住宅用火災警報器の普及促進について 2004年消防法改正に伴い、全ての戸建住宅、アパート、マンション等に住宅用火災警報器の設置が義務化され、本市も推進が図られたが、平成22年3月15日現在の状況は、設置有無の世帯調査率53%、この内、設置率は82.9%である。各地区で異なっているが、白石地区の28.4%、福岡地区の65.9%の2地区が他地区に比べ低くなっている。設置義務化の背景には、2003年以降、住宅火災により年1,000人を超える死者が発生、内約6割が65才以上の高齢者、原因の6割が逃げ遅れであり、本市、市民の安全の為に、設置の促進を早急に推進すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>3 愛犬の住基カードの発行について 狂犬予防法では飼い主に対し、犬の登録と年1回の狂犬病予防ワクチン接種が義務づけられている。狂犬病は人にも感染し、現在のところ治療がなく発症すると100%死亡するというものであり、世界保健機関の指針では、国内で動物が狂犬病に感染した場合、それを抑えるのには、約70%のワクチン接種率を維持する必要があるが、現在日本の全国平均接種率は38.9%である。東京都板橋区では、登録推進が予防接種に連動する事から、2010年1月に犬の住民票を発行、茨城県古河市でも今年から、愛犬の写真入り</p>	市長

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	2番 管野恭子 (一問一答)	で犬の住基カードを発行し、好評を博しており、増加が見込まれており、又、飼主の飼育マナーにもよい影響を与えているとのことである。本市においては、登録数及び接種率の向上、他諸視点からも愛犬の住基カード発行の検討をしてはどうか見解を伺う。	
11	3番 水落孝子 (一問一答)	<p>1 施政方針 最重要課題である企業誘致について</p> <p>(1) 企業誘致による雇用の創出、所得の創出についてどのような規模を想定して着手されたのか。</p> <p>(2) まだ決まっていないとの事だが、今後の見通しについて</p> <p>(3) 誘致に向けた新たなアクションプランについて</p> <p>(4) 工業団地造成に投入した額について</p> <p>(5) 起債に対する償還計画について</p> <p>2 子育て支援 子ども医療費の助成について 乳幼児医療費助成事業の拡充を検討中と聞いているところです。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 対象年齢を小学校卒業まで無料にするとしたら、どれほどの費用が必要となるのか</p> <p>(2) 所得制限は撤廃できないのか</p> <p>3 地域医療の確立について 地域医療の確立は、医療・保健・福祉の切れ目のない連携システムが、市民の安心ではないのか。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 地域医療の確立について、市長はどのように想定しておられるのか</p> <p>(2) 刈田総合病院、地域医療連携室、地域包括支援センター、市内の医療機関等のシームレスな連携体制が必要ではないか</p> <p>(3) 市財政運営の重点として、「支えていく」限界について</p> <p>(4) 限界を迎える前に果たすべき課題について</p> <p>4 国民健康保険制度の広域化について 国保の広域化が国から打ち出され、検討がはじまっている。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 広域化の目的は何か</p> <p>(2) 宮城県としての広域化は、各自治体の住民にとってどのようなメリット、デメリットが出てくるのか</p> <p>(3) 白石市の加入者にとっては、国保税は、どのように影響するのか</p> <p>(4) 広域化に対する市長の見解を伺う</p>	市長  市長  市長  市長